

TAKK 5th Anniversary

STRATEGIC PR

ANNIVERSARY PR

GOAL DRIVEN, FUTURE FOCUSED.

未来を見据えてアクションを取り [Future Focused]
そのアクション自体の原動力はゴール [Goal Driven]
であるという理念のもとに事業を遂行します

Corporate Philosophy TAKKの企業理念

Purpose

広報活動を通して、
感動と共感をひろげる

Vision

高いモチベーションが
溢れる世界にする

Mission

TAKKがひろがる仕事や
仲間を増やす

Value

Goal Driven,
Future Focused.

未来を見据えてアクションを取り (Future Focused)、
そのアクション自体の原動力はゴール (Goal Driven)
であるという理念のもとに事業を遂行する。

組織構造やリーダーシップは存在しない

優れたアイデアをだれも握りつぶせない

だれでも協力者になれる

だれでも先頭役を務められる

だれでも指図できない

目的や目標は自分で決める

だれかの成果を簡単に生かせる

ゴロツキや暴君に耐える必要はない

出る杭は打たれない

優れたものがたいていは勝つ
(平凡ではそうはいかない)

情熱を削ぐような方針はくつがえされる

素晴らしい貢献は周囲から認められ、
祝福される

「どうすれば全員が同等の権力を握れるか?」では
なく「どうすれば全員が強くなれるか?」である

本当にありのままよい。お互いの人間性の深い
所を見つめ直し、強さと弱さを尊重し合うという
美しい関係をつくる

TAKK GoalDriven, FutureFocused. Table of Contents

目次

SERVICE
P.04-05
TAKKのサービス

PUBLIC RELATIONS HISTORY
P.06-07
広報の歴史

STRONGLY × QUICKLY
P.08-09
「強く」×「速く」

STRATEGIC PR
P.10-13
戦略広報

ANNIVERSARY PR
P.14-17
周年広報

CLIENTS LIST
P.18
周年広報

TAKK × comado
P.19
TAKK と comado の強み

SERVICE

TAKKは広報PRチームの組織化から育成、自立までをサポートし
貴社の持続可能な成長に貢献します

01

オーダーメイドの
広報PR支援

02

豊富な実務経験と
信頼の実績

03

中途採用1人分*の
コストで契約が可能

※詳しい費用についてはお問い合わせください。

戦略広報

1. 広報PRチーム組成

- 広報PR組織マネジメント
- 広報PRスキルの提供
- 広報PRチーム運営方法策定

TAKK

人事部や総務部

営業部

経営陣

研究職

複数部署から選抜された
広報PRチーム

2-1. 企業広報 (コーポレートPR)

社外広報
周年広報
IR広報

社内広報

2-2. 商品広報 (マーケティングPR)

社外広報

□ 経営戦略の把握
□ 広報戦略策定

□ 広報課題の洗い出し
□ 広報計画策定(短期・中期)

3. メディア向けPR

- PR設計
- メディア選定
- プレスリリース作成 / 発信

4. 広報ツール制作

- WEBサイト
- グラフィック
- CI/VI
- コンceptメイク
- ブランディングデザイン
- 撮影 / 編集(動画、スチール) etc...

戦略広報を実施することで
事業基盤の構築と人材強化基盤の構築を強化することができます

この2つの軸を強固な軸にすることで、経営戦略ともリンクし、
企業価値の向上が期待できます。

企業価値の向上

事業基盤の構築

- 競合との差別化、独自化、競合優位性の確保
- 商品やサービスのブランド構築
- 継続的な利益獲得
- ファンの醸成
- 経営戦略や経営計画の社内への浸透、コミットメント

+

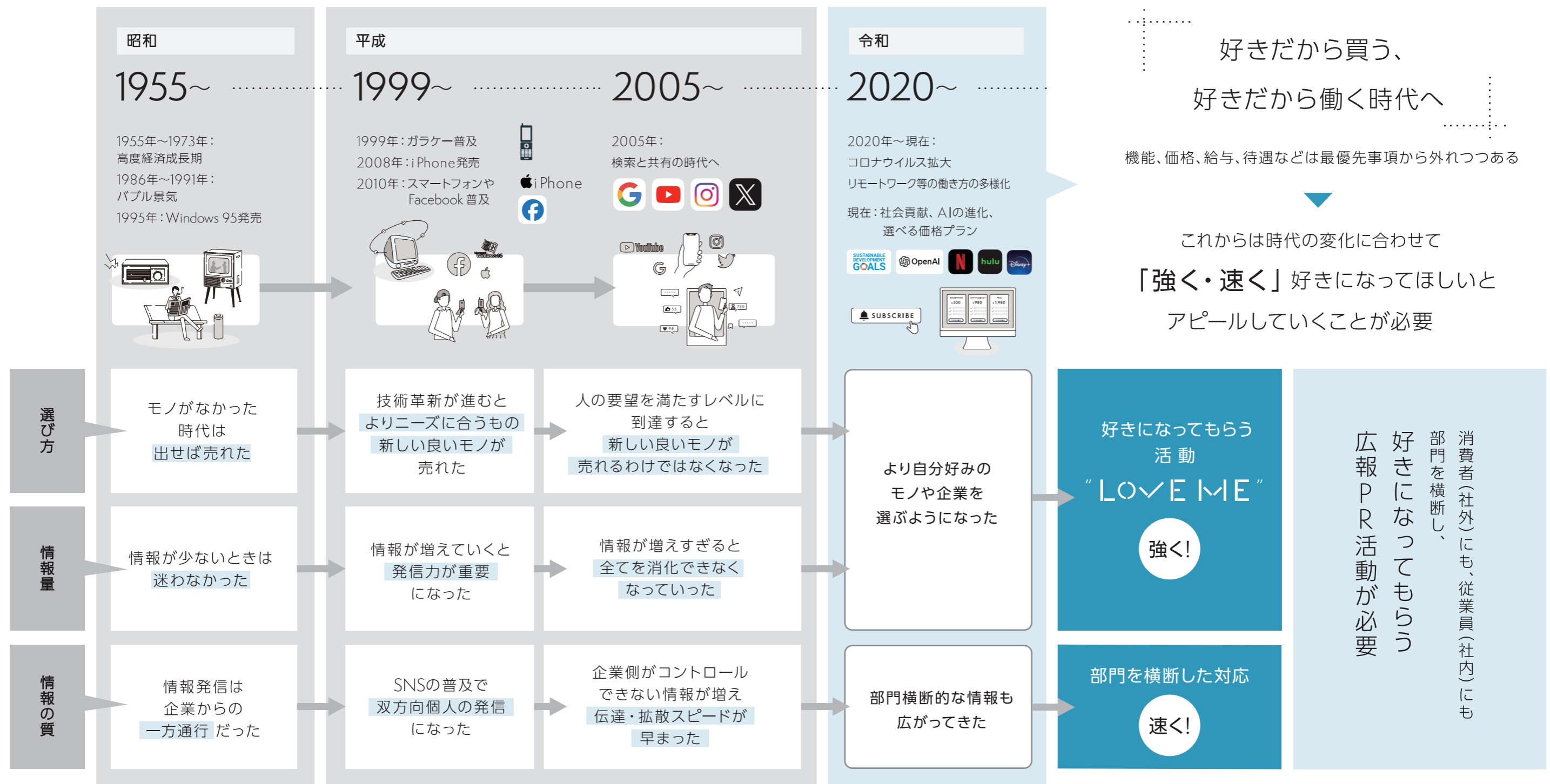
人材強化基盤の構築

- 社内の活性化
- インナーコミュニケーションの円滑化
- 採用強化
- 従業員満足度や定着率の向上

「広報PRのプロフェッショナル」として知識・技術・経験を生かし、
お客様の企業価値向上に貢献します。

PUBLIC RELATIONS HISTORY

時代の変化に合わせて『強く・速く』伝える、それが戦略広報です



企業からの情報発信が当たり前だった時代から、双方向のコミュニケーションが可能になった現代。

消費者の情報の選び方はもちろん、価値観が多様化しました。

そんな時代だからこそ「買ってほしい」のBUY MEではなく、「好きになってほしい」という

LOVE MEの広報PR活動が必要です。

STRONGLY 「強く」

好きになってもらう

“LOVE ME”活動が必要な理由

双方向のコミュニケーションや、ユーザーが情報発信するようになり消費者が情報を入力する先が多様化したことで、様々なメディアを活用する必要も出てきています。また、自分の価値観に合った企業なのかという点も重要視されている事から、企業の価値観を表す情報提供も重要になっています。

強く！ 好きになってもらう “LOVE ME”活動	それぞれの変化 ~これらの活動が重要に~	
	昔	今
社外広報 コーポレートPR・ マーケティングPR)	機能や価格を中心とした、企業が発信している情報を重視しTVやラジオ、雑誌などのマスメディアや、インターネットが登場したマルチメディアを利用した、「買ってほしい」のBUY ME広報が多かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・オウンドメディアの運営 ・SNSの公式アカウント ・動画コンテンツ ・事例コンテンツ ・商品レビューなどの口コミコンテンツ ・経営理念の発信 ・未上場でもIR情報の発信 ・SDGsなどの社会貢献活動 etc.
採用広報	給与や待遇、働く場所などをアピールすることが多かった。民間企業が運営する採用媒体(リクナビ、マイナビ等)を中心に利用した。掲載文章や写真を工夫し、上位に表示されるようコストを多くかけた企業にエントリーが集まった。	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の再設計を行い、求職者へ発信 ・自社採用WEBサイト ・SNS、口コミなどの管理 ・インタビューコンテンツ(記事や動画) ・Z世代やミレニアル世代などターゲット世代に合わせた訴求方法と内容 etc.
社内広報・ 周年広報	モチベーションを重視し、従業員の功績を称えるようなものが主流だった。式典パーティーや、社員旅行、給与評価などを重視した。	<ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションではなくエンゲージメントを重視する ・周年の場合は、周年コンセプトを策定し、それに伴った社内広報活動 ・通常時は、社内報は勿論、社内動画やイントラなどを活用し、常に社内へコンテンツを訴求し続ける事が重要 ・経営理念の理解を深める浸透活動 etc.

好きだから買う、
好きだから働く時代へ

強 × 速

「強く・速く」
好きになってほしいと
アピールしていくことが必要

QUICKLY 「速く」

部門を横断した対応が必要な理由

情報の発信方法が一方通行だった時代から、SNSやインターネットの普及により、双方向の発信が可能となりました。情報の伝達や拡散スピードが飛躍的に向上した今、企業がコントロールできない情報が増えています。社内外に対して、正確で迅速な情報発信を行う重要性が一層高まっています。

1. 情報の真実性や安全のために

▶スピード対応

主にネット上の拡散スピードは速く、企業が意図していない情報が出回ることが普通な為、それよりも速く企業から公式情報をステークホルダーへ伝えることで、安心や情報の真実性が増加します。

2. 経営戦略と連動した広報活動のために

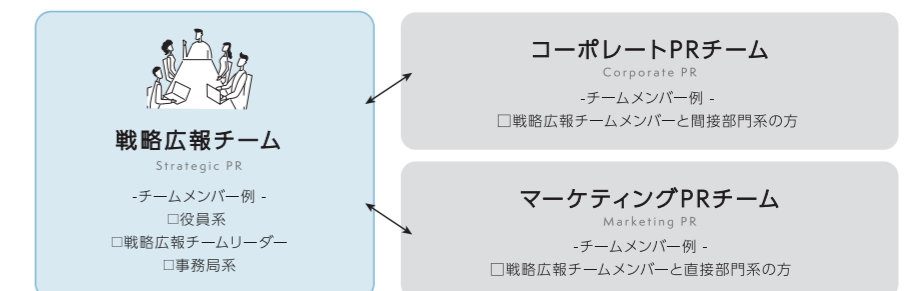
▶経営層の参加

広報PR活動は、経営の中核にすえるほど重要な事項であり、経営戦略に基づく広報PR活動を行う必要があります。その為、広報チームには経営戦略を把握している経営層が必要です。全体の経営戦略と広報PR活動がマッチしていれば、事業内容と一本筋の通った矛盾していない広報PR活動が可能となり、ステークホルダーからの信頼性も増加します。

3. 経営理念を浸透させるために

▶横ぐしの組織へ

営業部・人事部・経営企画室・総務部・開発部等からメンバーを集め、縦割りの広報組織ではなく横ぐしの広報組織を作り、組織の全体最適を行う必要があります。部署間連携をすることで、通常業務では意識しない全社目線になるので、自身の会社への理解が深まり愛着が湧き、理念の浸透や目線が広くなります。



STRATEGIC PR

戦略広報

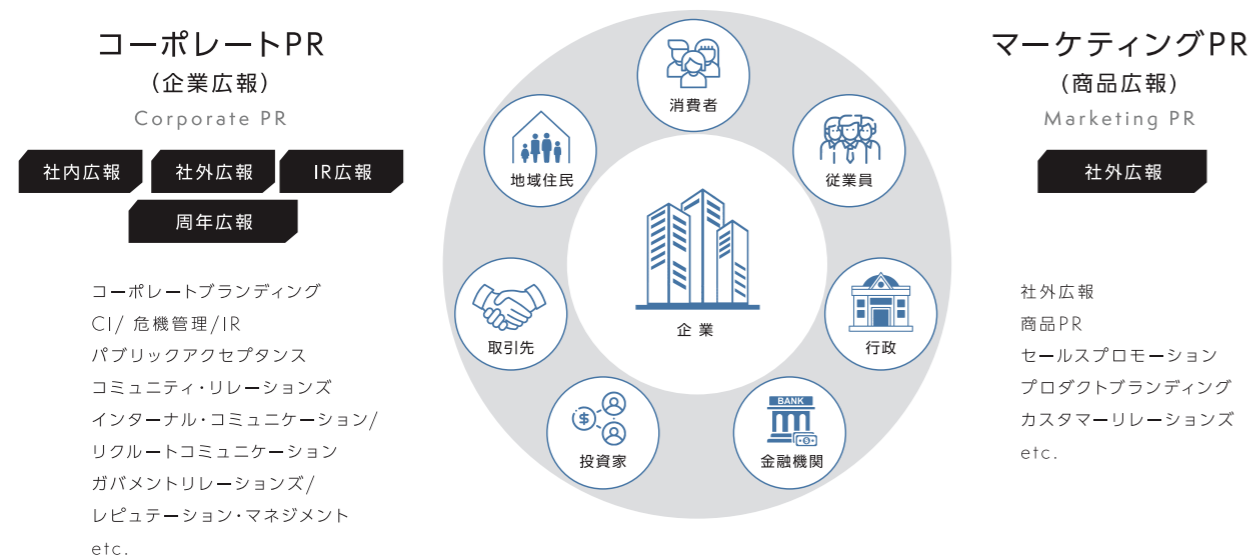
経営戦略に基づく広報PR

＝戦略広報の構築・育成・独り立ちまでをサポートする事業です

中長期の経営戦略に伴走し、戦略広報を策定し実行していきます。
単に広報ツールを制作することや、
企業情報を発信する下流の広報ではなく、
経営戦略や現状の課題に沿った上流の広報活動を行い、
その業務を組織化し、
貴社で持続可能な戦略広報チームへと
成長できるよう支援いたします。

広報PRの領域と位置付け

広報活動の大きな役割として、企業を取り巻く様々なステークホルダーとの関係性構築があります。
社内外すべてのステークホルダーとの良好な関係づくりを達成するためには、
各ステークホルダーが何に関心を持っているかを明らかにし、
積極的なコミュニケーションを実践します。コミュニケーション方法（広報の手法）は、
目的や対象に応じて使い分ける必要があります。



TAKKの戦略広報とは

経営戦略に基づく広報(＝戦略広報)の構築・育成・運営・独り立ちまでサポートする事業です。
中長期の経営戦略に伴走し戦略広報を策定し実行していきます。
これは企業価値へと醸成し、様々な経営効果を発揮します。単に企業情報を発信する下流の広報ではなく
経営戦略を基盤とする上流の広報を行い、またその業務を組織化し、貴社で持続可能な母集団へと成長させます。

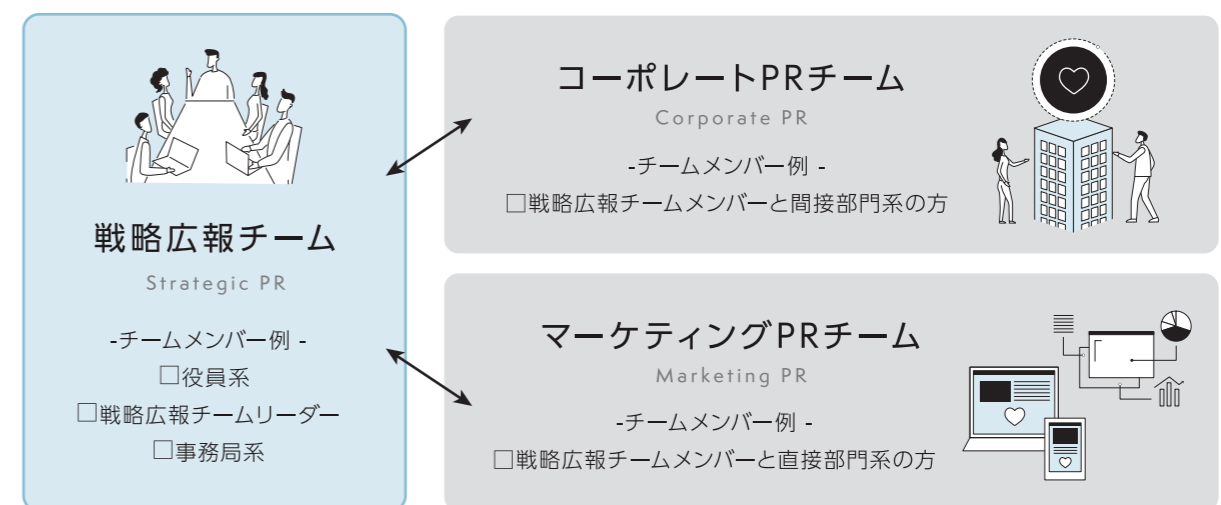
TAKKによるプロジェクトマネジメントでGOALまでご支援

お客様 & TAKK 戦略広報チームの立ち上げ	実行	GOAL!
<ul style="list-style-type: none"> □ 経営戦略の把握 □ 広報課題の洗い出し □ 経営戦略に沿った広報戦略を立案 □ 広報計画の策定 (中長期計画・年間計画策定) □ 年間タスクと予算策定 □ チーム運用方法策定 	<ul style="list-style-type: none"> □ 広報スキル勉強会の提供 □ 制作物のディレクション □ クオリティ管理 □ スケジュール管理 □ SNS 紙媒体・WEB等 □ 宣伝媒体の管理と戦略策定 □ 予算管理 	<p>将来的には自社(御社)のみで 継続可能な事業や 組織の確立を目指します</p>

理念浸透のために横ぐしの広報チームを組成

広報チームを部署横断型にする最も重要な理由は、経営理念を浸透させるためです。
営業、人事、総務など各部署からメンバーを集め、全社的な視点を持つ横断的な組織を組成することで、
社員の理解と愛着が深まり、理念の浸透が促進されます。
さらに、迅速な情報の発信でステークホルダーからの信頼性を確保し、
経営戦略に基づいた一貫性のあるメッセージを伝えることも目的としています。

□戦略広報チーム例

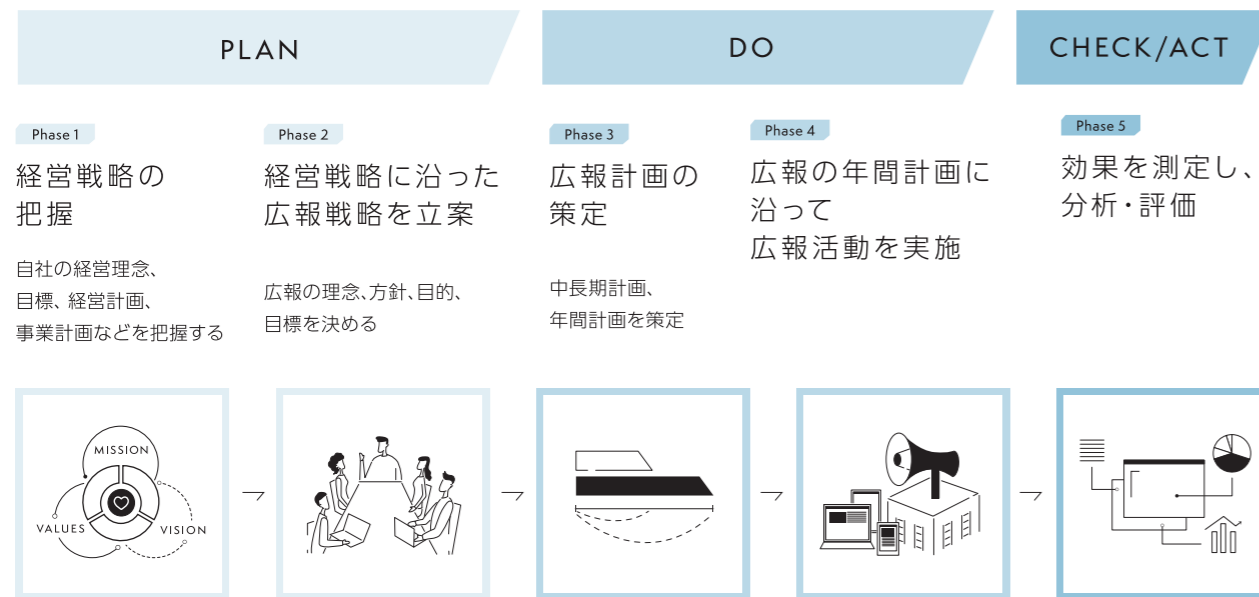


STRATEGIC PR

戦略広報

戦略広報業務フロー

広報PRを企画経営の中核にすえて、長期・短期の計画を明確かつ綿密に立案(Plan)し、
 広報スキルを段階的に身につけながら、立案した計画を着実に遂行(Do)し、
 その結果を的確に評価(Check)して、
 計画や広報の手法にさらなる改善を加える(Act)。
 そして、長期的かつ持続可能な体制や知識、スキル、ツール、および技法を自社(貴社)に根付かせ、
 プロジェクト活動(組織)へと適用していきます。



From 0 to 100 - A Colorful World Awaits
白石工業株式会社

専任者0人のチームで築き上げたグループ戦略広報の礎

「戦略広報プロジェクトマネジメント」によって立ち上がったチームだからこそ乗り越えられた、コロナ禍の広報活動

戦略広報の事例紹介

<https://takk.tech/sprlist/>

COMPARISON CHART

領域や提供サービス比較表

企業の広報PR活動を支援する会社には
 様々な種類の会社が存在します

目的や手段、どういった導入効果を求めているかによって、選ぶべき会社が異なります。
 社内外に向けた広報戦略の策定や、広報チーム組成が必要であれば、
 広報PR活動を専門としたプロフェッショナルが戦略広報と
 プロジェクトマネジメントの側面からお手伝いできるTAKKにご相談ください。

	TAKK GoalDriven, FutureFocused.	組織開発会社	PR会社
組織横断型 チーム開発	◎	○	×
対象	社内外どちらも <small>※社外広報 / 社内広報 / 周年広報 採用広報 / IR広報</small>	社内	社外
主たる サービス 内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報戦略の立案 ● 組織マネジメント ● 広報スキルの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 組織人事コンサルティング ● 人材開発研修 ● 評価制度の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ● メディアPR戦略の立案・実行 ● プレスリリースやクリエイティブ制作 ● テレビ・ラジオ・デジタル広告など、異なる広告媒体と連携
導入効果	社内	<ul style="list-style-type: none"> ● インナーコミュニケーション活性化 ● 企業理念浸透 ● モチベーションアップ ● 人材育成 ● タレントマネジメント 	—
	社外	<ul style="list-style-type: none"> ● ブランディング ● 競合他社との差別化、独自化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広いメディア露出 ● 知名度の向上
総評	<p>広報PRを専門とした支援企業。社内横断の広報チーム組成と社内外に向けた広報戦略の策定を得意とする。経営戦略や事業戦略から広報戦略を立案するが、経営戦略や人事戦略の立案は範疇外。プレスリリースやクリエイティブのプロジェクトが発生する場合の制作やディレクションは対応可能。</p>	<p>組織人事を専門とした支援企業。得意分野はタレントマネジメントで、研修セミナーなどが中心のサービスで人材強化にも特化している。自社の人材や組織をモデルケースとして顧客に提案、コンサルティングをしているケースが多い。グループ企業内に制作会社をおく企業もあり、クリエイティブの対応も可能。</p>	<p>販促を得意とする企業。メディアに取り上げてもらえる効果的な方法をアドバイスしたり、メディアに対して企業を取り上げてもらえるような働きかけをする。PR事業・プレスリリース配信事業から成りメディアとのネットワーク連携も強いため外部に多く露出を図ることができる。</p>

ANNIVERSARY PR

周年広報

TAKKが提供する周年広報は

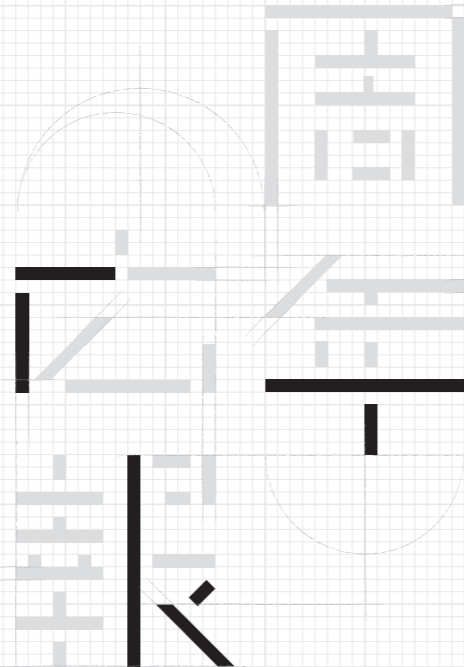
“経営課題を解決するプロジェクト”です

中長期経営計画の実現をゴールとした活動を共に歩みます。

周年式典を実施するだけではなく、

経営課題を把握しそれを解決できる周年広報チームを組成し、

周年プロジェクトがスタートするところから浸透活動は開始します。



昔

よくある周年プロジェクト

よくある周年プロジェクトといえば、社員や取引先をホテルの会場に案内し、立食パーティーのようなスタイルで祝いあう結婚式のような形が多く見られ、その場、その日だけに限定された祭りごとのようなものでした。

昔 かつての周年事業のケース

社員や取引先に感謝を表し、
今後の目標を発表や披露するイベント



式典や会食が中心。記念品などの配布を行う。 1~3日程度の日程でサッと行う。

周年広報

今

なぜ周年プロジェクトが絶好の契機なのか？

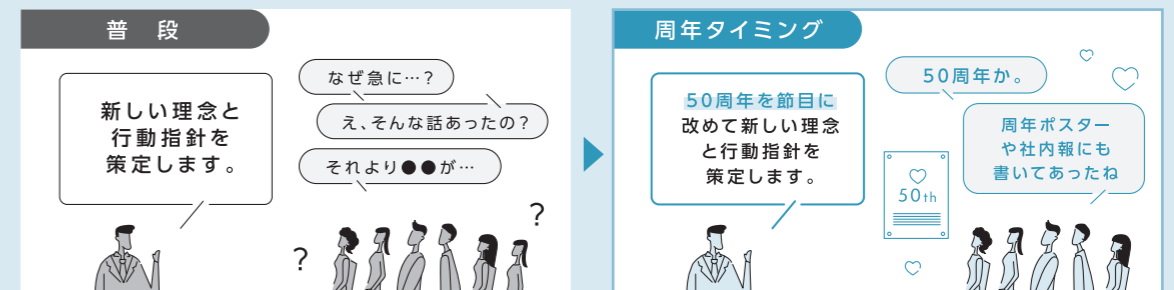
「別に周年に限らず日常の中で変化を起こしていても良いのではないか」という考えもあるかもしれません。

しかし、ある日突然新しいことを始めたり、経営陣だけで意思決定したトップダウンの変化要望は

社内外からの納得感を得にくく反発を生みやすくなります。

周年をきっかけ・理由(契機)とすることで、納得感を得やすく、普段なかなか手をつけられないことに対してメスを入れていきやすくなります。加えて「周年」は社内外の注目度が高いためPRしやすくなります。

例) 経営課題を解決したい、新しい理念や行動指針を策定したい。

周年広報プロジェクトによって
得られる様々な効果

周年を迎える年は

企業にとって大切な節目です。

企業を支えてきた社員や

様々なステークホルダーに対して、感謝を伝え、

今後のビジョンを共有できる絶好の機会となります。

この機会を利用し、周年広報プロジェクトを立ち上げ、

普段はなかなか意識することが少ない企業理念や

ビジョンを社内でも共有することで

理念浸透や社員のモチベーションアップを

図ることが可能になります。

社内外に向けた
発信力強化

周年をきっかけにしたブランディングが可能になるので、通常時より効果的に発信力が強化され、企業価値の向上を達成します。

理念浸透

周年の機会を活用し、企業理念や経営戦略を改めて社内外へ発信することで、通常時より効果的に浸透させることが可能になります。

エンゲージメント
の向上

周年広報チームでプロジェクトを進行することでチーム内、組織全体のコミュニケーションが活性化し、エンゲージメントの向上が期待できます。

社内の意識改革

周年広報プロジェクトにより、普段あまり意識してこなかった自社のことを能動的に考えはじめ、組織の士気を上げることが可能になります。

“経営課題を解決する周年プロジェクト”で

中長期経営計画の実現をゴールとした活動を共に創り歩みます

新しい門出を祝う、その先にはきっと理想の未来の法人像を見据えているはずで

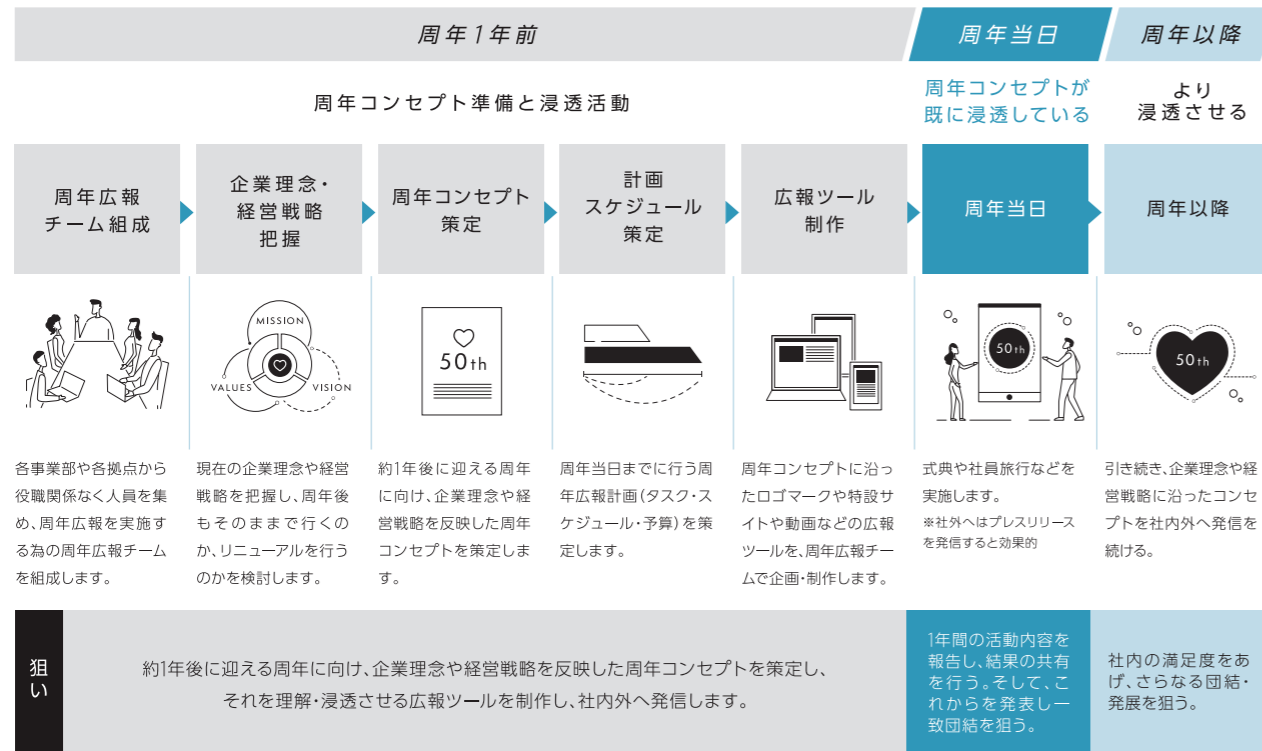
それを実現させることにフォーカスしたサービスとなっています。

ANNIVERSARY PR

周年広報

周年の1年前からプロジェクトを実施し 周年コンセプトの浸透を実現

約1年後に迎える周年に向け、企業理念や経営戦略を反映した周年コンセプトを策定し、それを理解・浸透させる広報ツールを制作し、社内外へ発信します。
それらを1年前から活動する事により、徐々に従業員やステークホルダーからの理解を深め、モチベーションをあげていきます。
1年後である周年当日は、発表の場でもありますが、すでにその時点では周年コンセプトが浸透されている状態を目指せば、より効果的にエンゲージメントを高めることが可能になります。



地球の成功が、私たちの未来。
80th Anniversary
GMB
Your success is our future.

80周年広報 GMB株式会社

NANKAI
Always Riders at Heart

70周年広報 南海部品株式会社

周年広報の事例紹介

<https://takk.tech/aprlist/>

COMPARISON CHART

領域や提供サービス比較表

周年事業を支援する会社は様々あり 提供しているサービスや強みとしている領域が異なります

イベントや旅行などの周年式典を実施するだけなのか、デザインツールを制作するだけなのか、「周年広報」の目的によって選ぶべき会社が異なります。
周年を契機とし、経営課題を解決することを目的とするならば、多くの実績を持つTAKKにご相談ください。

	TAKK Goal Driven, Future Focused.	旅行代理店	印刷会社	イベント会社
特長	経営課題の解決など 長期的な広報手段としての周年事業	社員旅行を中心に組み立てる周年事業	社史などのデザインツールが中心の周年事業	周年当日のイベントが目的の周年事業
対象	準備期間(2~1.5年前) ↓ 当日 ↓ 浸透期間(1~半年)	旅行当日	配布・公開当日	イベント当日
主たるサービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ●組織マネジメント ●周年広報プロジェクトの立ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ●周年イベント、行事の企画・運用 ●宿泊・交通手配 	<ul style="list-style-type: none"> ●社史編さん ●CI/VI企画・制作 ●アプリケーションデザイン作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●式典やアクティビティの企画・運用
総評	<p>広報PRを専門とした支援企業。</p> <p>社内横断の広報チーム組成と社内外に向けた広報戦略の策定を得意とする。周年当日までの準備期間から浸透期間を含めて長期的に周年広報に取り組むため、周年以降は組織を熟知した広報チーム組成に発展させることができる。</p>	<p>主な事業が旅行代理店の為、人数や予算規模に合わせた旅程を組んでもらうことができる。旅程を企画するだけでなく、旅行先でのイベントや宿泊先の確保、スタッフ手配、送迎(チケット)手配など事務手続きも任せられることができる。</p>	<p>印刷物を主体とした事業の為、デザイン・印刷だけでなく資料収集や内容の校正・校閲にも優れている。正しい社史の記録や経営者のインタビュー記事、社内の座談会記事などを形に残すこともできる。当日以降もツールの配布や掲示ができ、デジタル化すればアーカイブとしても活用可能。</p>	<p>会場や日時の決定、機材および演出家やスタッフの手配、告知や演出のための装飾作業まで依頼可能。式典などのセレモニーから、謎解きイベントなどのワークショップ型まで、斬新なアイデアや人気のあるコンテンツを企業風土や予算規模に見合った内容が実施できる。</p>

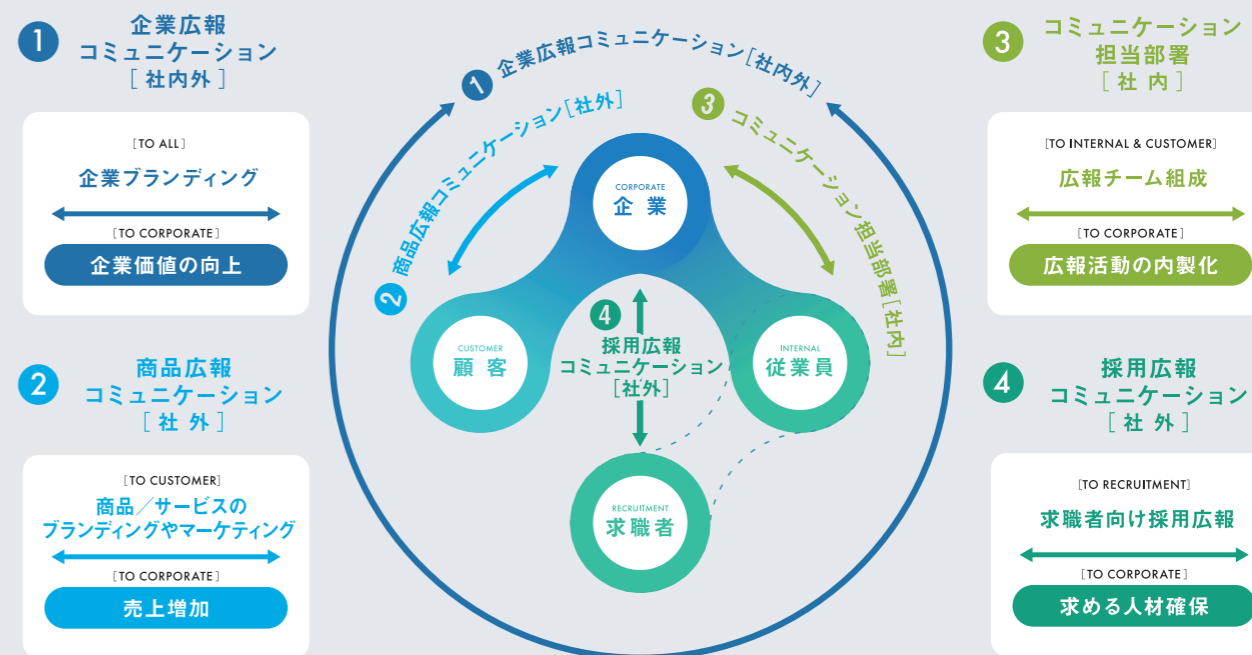
CLIENTS LIST

クライアントリスト [戦略広報]

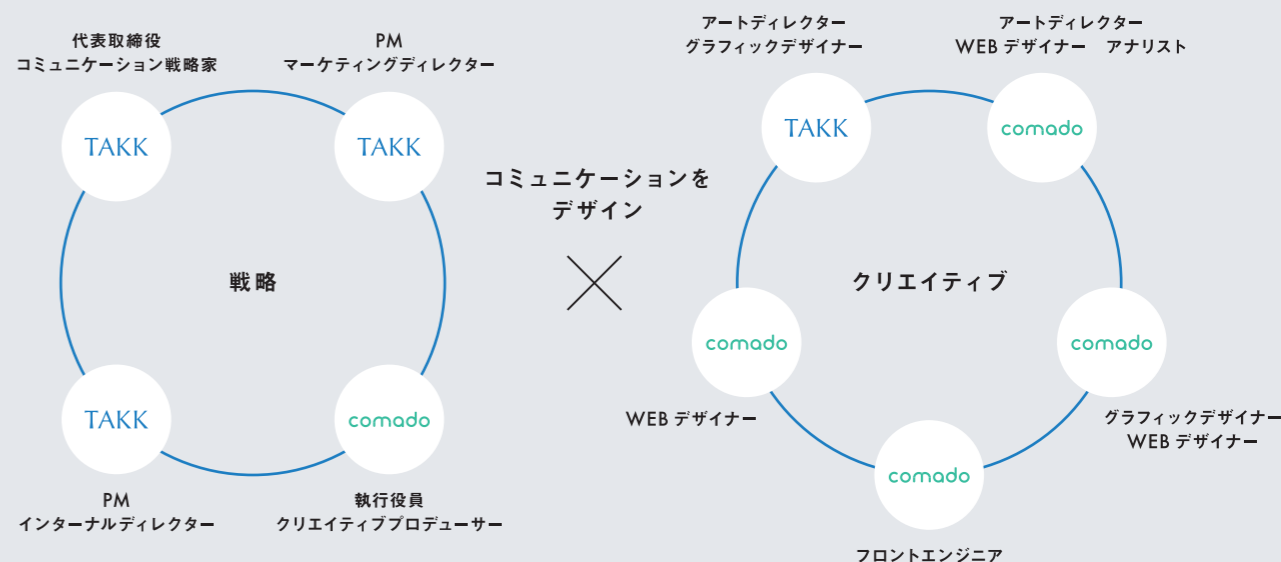
 <p>Fun for All into the Future</p> <p>バンダイナムコ・インディア (本社:ムンバイ)</p>	 <p>From 0 to 100 - A Colorful World Awaits</p> <p>白石工業株式会社 白石カルシウム株式会社 株式会社白石中央研究所</p>	 <p>暮らしに笑顔をお届けします 大阪いずみ市民生活協同組合</p> <p>大阪いずみ市民生活協同組合</p>	 <p>社会医療法人 同仁会</p>
 <p>Always Riders at Heart</p> <p>南海部品株式会社</p>	 <p>株式会社スタジオアリス</p>	 <p>Your success is our Future.</p> <p>GMB株式会社</p>	 <p>サミーデジタルセキュリティ株式会社</p>
 <p>帝人フロンティア株式会社</p> <p>帝人フロンティア株式会社</p>	 <p>医療法人社団 中川会 中川会 吳中通病院</p>	 <p>関西ビジネスインフォメーション株式会社</p>	<p>PORTFOLIO</p>  <p>https://takk.tech/news/</p>

TAKK × comado

戦略とクリエイティブの力で、
企業と顧客や従業員との **コミュニケーションをデザイン**



私たちは2社の垣根を超え、
戦略チームとクリエイティブチームで構成された組織体制を採用しています。



TAKK&COMADO の強み

<https://comado.takk.tech/>





想いが実る5周年に

Outline

会社名 | TAKK株式会社 (英文名称: TAKK Corp.)

代表者 | 代表取締役 湯浅卓 (Taku Yuasa)

住所 | 〒545-6031 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス31階
Abeno Harukas 31F, 1-1-43 Abenosuji, Abeno-ku, Osaka-Shi Osaka, 545-6031 Japan

URL | <https://takk.tech/>

MAIL | info@takk.tech

TEL | 06-6625-5094

設立 | 2020年1月 (2020年6月法人化)

資本金 | 1,000万円

適格請求書発行事業者登録番号 | T6120001229570

TAKK Goal Driven,
Future Focused.
<https://takk.tech/>



フリーランスを始めた/始めているあなたへ

フリーランサー応援隊!!

<https://oentai.takk.tech/>

